



大妻同窓会 広島世羅だより

第5号
発行責任者 伊藤妙子



広島世羅会長ご挨拶

会長 伊藤妙子



皆様、今日は。「広島・世羅だより」が発刊されて5号になりますが、この間、会長を務めて下さった植野邦子さんが諸事情で退任され、私がその役を引き継ぐことになりました。思ってもみなかったことで、力不足の私がその任に耐えうるかどうか、不安な気持ちで一杯ですが、会員皆様のご協力を得ながら、他の役員の皆様と一緒に知恵を出し合い、引き続き一歩でも二歩でも前進する会を目指したいと思います。今日までこの会の方向づけをして下さった役員・会員の皆様のご努力に感謝致しますと共に、今後とも変わらぬご指導ご協力をお願い致します。

平成26年は、世羅町名誉町民の大妻コタカ先生、生誕130年に当たり、世羅郡旧3町合併10周年を迎えるとの合わせて、お祝いの式典が予定されています。そして来年、大妻同窓会広島世羅の総会は、春、桜の咲く頃、大妻先生のご生家“ごもくめし”で開催の予定です。東京からもご出席下さいますので、母校大妻の近況等楽しみな報告も多くあることと思います。一人でも多くの卒業生に呼びかけてご参加をよろしくお願い致します。

大妻コタカ記念会井上会長様・記念会役員様・会員様のご健勝とご活躍を心よりお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



第24回大妻コタカ記念会 広島世羅 総会



朝からあいにく雨の日曜日でしたが駅を出ますと甘いお酒の香り、西条の歴史ある酒蔵通りを散策。佛蘭西屋での総会。親睦会は難波様の“高齢社会について”と題して生涯現役で年を重ねていきたいと、実践しておられる日々の生活の一端を話して頂きました。私達も行く道、大変参考になりました。伊藤様の手品に篠原様のオカリナ演奏、植野様にご指導して頂き楽しい歌と大変有意義な一日を過ごすことが出来ました。

平成25年5月19日(日)於佛蘭西屋

尾道ふれあいの里に於いて役員会

総会の反省と新役員引き継ぎを目的に7名出席しました。場所は、天然温泉 尾道ふれあいの里、尾道の奥座敷として人気があり、地元産の食材を生かしたお食事を頂きました。今回温泉は見送りです。前会長の植野さんが、折り紙で小さな人形作りを指導してくださいました。メガネをかけ爪楊枝で小さな個所を折っていき、皆一生懸命で指先が硬直しそうでした。人形の本体に左右袖を付け、帽子をかぶせる、目鼻を書くと皆それぞれ表情が違つて作り手に似ている感じ。不思議に天使がぱあっと舞い降りたようにかわいく出来ました。楽しいひとときでした。

奥本英美枝



平成25年6月21日(金)

大妻コタカ先生を偲んで



昭和40年頃我が家の庭にて

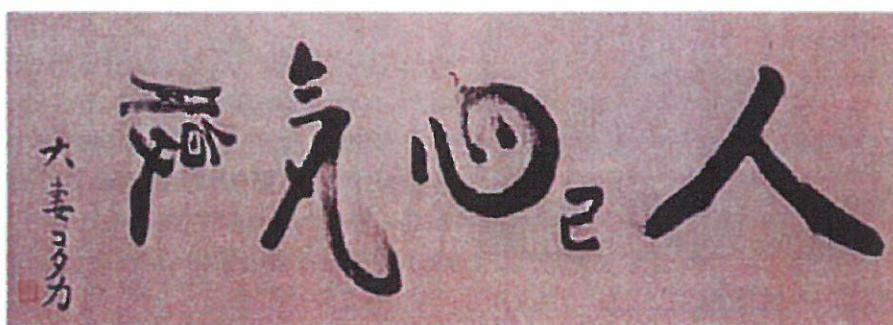
この度大妻コタカ先生の府中滞在の思い出を書いて欲しいとのご依頼をいただきました。私は昨年米寿を迎えた。ずっと体調を崩し思うように活動出来ない体で自宅療養の日々を過ごしておりますが、懐かしく当時のことを思い出させて頂き乱文で失礼ながら少し記させていただきました。

思い起こせば激動の時代を生き、様々のことを乗り越えた長い人生でしたが、大妻先生とご縁を頂き、ご一緒に過ごし心を通わせていただけたことは、大切な思い出と共に、沢山の生きる指針をいただいたことに感謝の思いが沸いて参ります。先生が古里にお帰りになる度に、府中にお寄りくださいって、私宅へお泊まりなさいました。増築した和室と新調の布団がおきにめして2日も3日も滞在されることもありました。府中の同窓会に出席されたり、当時紡績会社をしておりました主人の会社の社員や、会社の定時制高校の生徒のためにもお話をしてくださいました。

こたつに入り皆で先生のお話を聞くのがとても楽しい時間だったことを思い出します。昭和45年1月ご逝去される前年の11月お泊まりになられたのが最後でした。お別れに来て下さったように思われました。書が苦手の先生にお願いして書いて頂いた書が残っております。

「恥を知れ」と「人己腹心氣」“
人は大きく己は小さく腹を
たてずに横にして心は丸く氣
は長く”

松坂 都
(昭和18年卒)



総会に参加して

日頃お世話になっている植野邦子様とお話ししている中で、互いに大妻の卒業生であることが判り、益々話が弾み、その中で同窓会のお誘いを受けました。お恥ずかしながら、毎年同窓会が開かれていますのに今まで失礼をしておりましたが、お仲間に入れていただくことになりました。

当日はあいにくの雨空になりましたが、灘・伏見と並ぶ日本有数の酒処である西条の酒蔵通りを散策し、総会の後の昼食会では、校歌を歌ったり特技の手品を披露していただいたり、近況報告や懐かしい話に花が咲き、親睦を深めることができました。

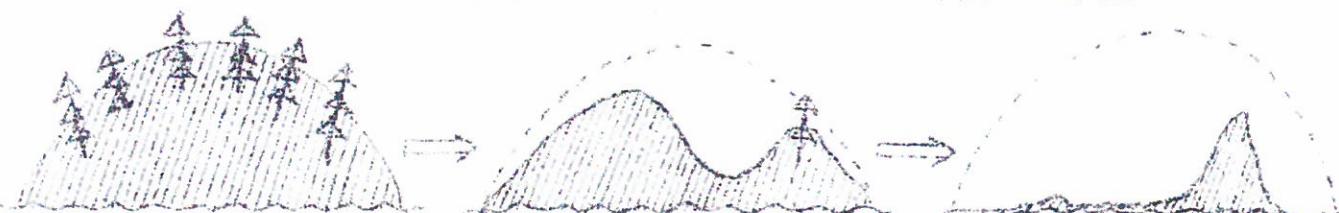
皆様から温かく迎えていただき、楽しいひとときを過ごすことができ「同窓ってなんて素晴らしいのだろう。来させていただいて良かった。」と、喜びと感謝の気持ちでいっぱいになりました。有り難うございました。

藤田 登喜子

「ほぼろ島」の伝説

広島県には、142の島々があるといわれています。その内、温暖で風光明媚な東広島市安芸津町には、7つの島（ほぼろ島、鼻繰島、唐船島、大芝、小芝、藍の島、竜王島）があります。中でも「ほぼろ島」の伝説には趣があるので紹介しましょう。昔、むかしほぼろ島が安芸津の海にお嫁に来ました。竜王島は、竜宮城の乙姫様みたいだと褒めてくれました。いつの日か台風がやって来て、大波が打ち寄せ、美しい山肌もへそをほじくられ、中腹に穴が開き、崩れていくばかりでした。さらに強い台風に見舞われた日には、島は二つに割れ、美しい松の木も、一~二本残すだけの痛々しい姿になってしまいました。それからと言う物、悲しそうに“生まれ育った海に戻りたい”“ほぼろを売りたい”と毎日嘆いてばかりで、そのため年々身が細っていくばかりでした。「ほぼろを売る」とはこの地方の方言で、嫁が辛抱出来なくて実家に帰ることを意味しています。核家族が当たり前の今日、このような言葉は不釣り合いな感じがしますが。平和な世に平穡に暮らせる日々に感謝です。是非安芸津町にお越し下さい。

植野 邦子



ずっと昔のほぼろ島
(江戸時代頃)

ふたつになったほぼろ島
(昭和20年頃)

現在のほぼろ島
(平成20年)



ほぼろ島の場所



ほぼろ島の写真
(昭和30年頃)

平成26年度広島世羅総会の予定

平成26年度の広島世羅総会は、平成26年4月27日（日）に大妻先生のご生家“久恵 風穴の里 ごもくめし”で開催の予定です。皆さんお誘い合わせてお集い下さいますようにお待ちしております。



ごもくめし



三川ダム



大妻先生の書

お知らせ

★年会費 東京への振り込み(2000円) 支部(1000円)へもお忘れのないようにして下さい。
(会計年度4月1日～3月31日)

大妻同窓会広島・世羅平成25年度役員名簿

会長 伊藤妙子
副会長 植野邦子
副会長 篠原富子
庶務 越智法子
会計 藤井巴
会計監査 小川かよ子

編集後記

原稿依頼を快く受けて下さった会長様はじめ、多くの皆様のご協力のお陰で無事第5号を発行することができました。厚くお礼を申し上げます。7年後東京でオリンピックが開催されます。心身共に健康で皆様と迎えることが出来ますよう祈りたいと思います。

越智法子



TOKYO ● 2020
APPLICANT CITY